

■わが家の避難所■

わが家の避難所	名称	所在地
家族が離ればなれになったときの集合場所	名称	所在地

■家族の連絡先■

家族の名前	生年月日	電話番号	血液型	会社・学校の電話番号
	年 月 日	☎	型	☎
	年 月 日	☎	型	☎
	年 月 日	☎	型	☎
	年 月 日	☎	型	☎
	年 月 日	☎	型	☎

■確認リスト■

役に立つもの：「○」と記載

- 高い建物とその出入り口 (オートロックの有無も)
- 消火器・消火栓
- 防災無線のスピーカー
- 歩道橋

あぶないもの（避難を妨げそうなもの）：「×」と記載

- ブロック塀
- 高い壁
- 電柱・電線
- 階段
- スロープ・段差
- 駐輪自転車
- 看板
- 街路灯
- 高架
- 自動販売機
- 木造家屋
- ビルのガラス
- 老木

その他

- 高低感覚 (標高図との照らし合わせ)
- 所要時間
- 道路の幅
- 避難ルートの交通量

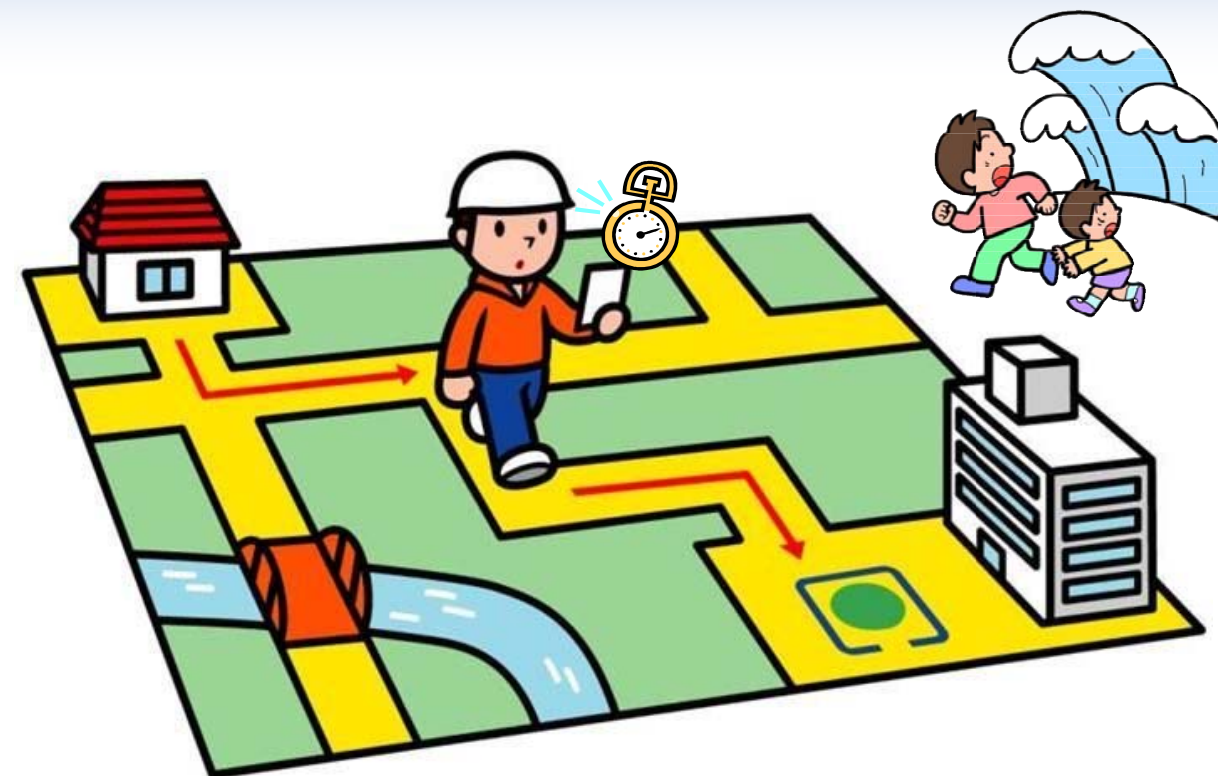
ダウンロード先 [区ホームページ](#)  検索



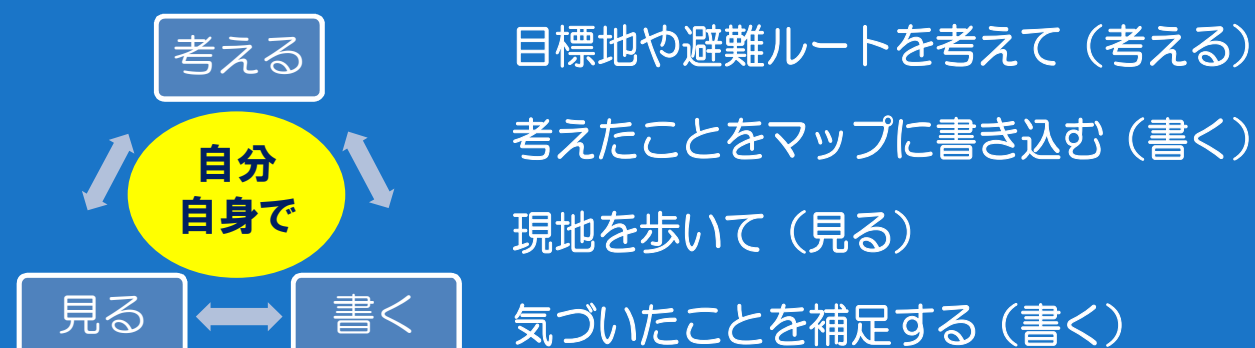
<発行> 品川区 平成 25 年 2 月  
 <問合せ先> 品川区 防災まちづくり事業部 河川下水道課  
 〒140-8715 東京都品川区広町 2-1-36 TEL 03(5742)6794(直)  
 ホームページ <http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

～想定外の津波から自分を守るために～

# 津波自主避難マップ



■津波自主避難マップの作り方■



目標地や避難ルートを考えて（考える）  
 考えたことをマップに書き込む（書く）  
 現地を歩いて（見る）  
 気づいたことを補足する（書く）

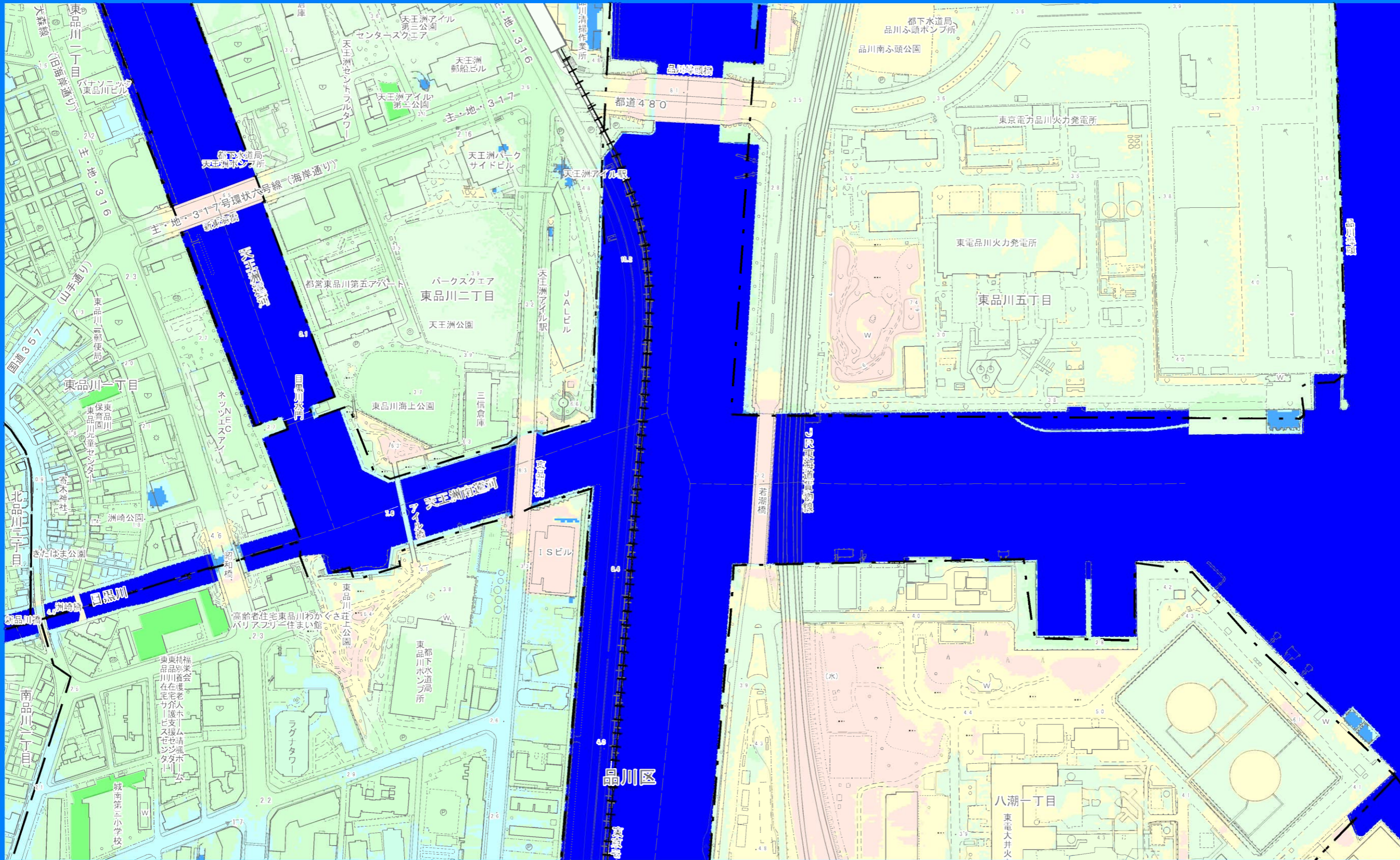
マップを作り、“いざ”という時のために役立てよう！

作成日 年 月 日 名前



<メモ>

記入する内容を記号化したり、色を統一するとマップが見やすくなります。



必ず書き込むもの

- ス : 出発地
- ゴ : 目標地
- 高 : 高い建物
- : 避難ルート (メイン)
- : 避難ルート (別ルート)

気付いたこと

- 役に立つもの  
(消火栓、歩道橋、避難先の入口 など)
- × あぶないもの  
(電線、自動販売機、ビルのガラス など)

- 電柱の多い道路
- コンクリートの高い壁
- 幅の狭い道路
- 高架の下をくぐる

標高

- 20m以上
- 10m以上20m未満
- 5m以上10m未満
- 4m以上5m未満
- 3m以上4m未満
- 2m以上3m未満
- 1m以上2m未満
- 1m未満

建物の区分

- 区有施設 (3階以上、耐震化)

鉄道

- JR
- 私鉄

<メモ>

地図番号 8



東京都都市整備局及び株式会社ミッドマップ東京の承認を得て、東京都縮尺1/2,500地形図(平成23年度版)を背景図として使用しております。(MMT利許第019号-16)また、データの複製を禁じます。